

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2021年度 助成者)

作成日 2021年 8月 21日

氏名 (フリガナ)	川村 拓斗 (カワムラ タクト)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2021年8月17日 (火) ~ 8月21日 (土) オンライン (Zoom)
大学名	北海道大学
学年	6年

今回の研修では、ケースプレゼンテーションに求められるレベルが非常に高いことを痛感しました。

患者さんへの問診、およびそれを基にしたケースプレゼンテーションを何度も行うことで、基本の型を身につけることができました。また Dr. Shon や小林先生、野木先生といった米国で第一線で活躍なさる先生に懇切丁寧なご指導していただいたことで、自分が目指すべきケースプレゼンテーションがどのようなものなのか、身をもって学ことができました。しかしながら、鑑別診断をより多く挙げる経験が少なかったため、鑑別診断を自分で考え出すことに苦労を感じました。さらに、鑑別診断を挙げて明瞭に根拠を述べるできないというもどかしさも感じました。米国の学生やレジデントは、いかに多くの鑑別診断と論拠を述べられるかで優秀かどうかが決まるというお話を小林先生から伺ったため、詳細な鑑別診断を論拠を伴って挙げる練習を意識して続けていきます。

またレクチャーで米国で臨床をするまでの道のりを明確にするとともに、それが生半可なものではないことを実感いたしました。他に参加なさっていた学生の方々の、将来良医になるために米国留学したいというモチベーションにも大変刺激を受けました。私は学生時代に海外で臨床留学して視野を広げることが叶わなかったため、小児科で米国臨床留学したいと考えています。9月に USMLE STEP1 を受験するため、先生方のように米国で臨床ができる日を熱望しつつ、残りの期間を全力で過ごしていきたいと意気込みを新たにいたしました。

今回の研修で得た経験を日々念頭におくことで一人の医師として成長しつつ、それを患者さんの利益として還元し続ける姿勢も忘れないようにしたいです。まずは半年後に迫った初期臨床研修で、いかにして患者さんの治療に結びつけられるか考察していきたいと考えています。

今回の研修は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催でしたが、対面での交流と遜色ない貴重な経験を得ることができました。このような機会を設けていただきました公益財団法人日米医学医療交流財団の方々に心より感謝申し上げます。感染の流行がひと段落いたしましたら、ハワイに伺う機会を積極的に求めていきます。